

こっこめ通信 12 2020

「大きなカモと北限のヘゴ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

季節は本格的な冬に向かって着実に進んでいますね。八丈島でも、ザトウクジラを目撃情報や様々な冬鳥たちの確認情報など、この季節ならではの話題で盛り上がる事が多くなっています。そこで今回は、普段は八丈島で観察することが期待出来ない大きな鳥たちの話題と、東京都教育委員会が毎年開催している東京文化財ウィークの企画事業として実施した、「シダ植物観察会（北限のヘゴを訪ねて）」の様子を紹介します。

大きなカモの仲間達がやって来た！

そろそろ冬の気配が漂い始めた八丈島に、続々と冬鳥達がやってきています。冬鳥といっても島では一冬ずっと見られるものもあれば、あっと言う間に見られなくなるものまで様々です。大きなカモの仲間達もやってきます。大きなカモは短期滞在型が多いので出会いも束の間。タイミングが大切です。

今月号では10月から11月にかけてやって来た大きなカモにスポットを当ててみたいと思います。(M.K.)

※確認日=ビジターセンターが確認した日



【ヒシクイ】 確認日：10月2日 2羽
島にはごく稀に飛来する。今回のように複数羽での飛来はとても珍しい。



【マガン】 確認日：10月14日 3羽
春と秋の渡りのシーズンに飛来する。秋は幼鳥を含む複数羽、春は単体での飛来が多い。



【コハクチョウ】 確認日：11月13日 1羽
ホタル水路周辺など池に降り立つ事が多い。今回は海岸に降り立った。とても疲れている様子。



【ハクガン】 確認日：11月15日 5羽
八丈島はおろか伊豆諸島初記録となる。5羽揃って歩く姿が微笑ましかった。5羽とも幼鳥。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

東京文化財ウィーク 2020 企画事業

「シダ植物観察会（北限のヘゴを訪ねて）」

八丈ビジターセンターでは、毎年東京文化財ウィークの開催に合わせて、八丈島の文化財を取り上げる行事を実施しています。今年も11月15日に国指定天然記念物の「ヘゴ自生北限地帯」を訪ねるシダ植物観察会を開催しました。参加者のモチベーションは高く、48種のシダ植物を確認することができました。



鴨川林道は三原山の北側中腹に位置し、国指定天然記念物の「ヘゴ自生北限地帯」を通っています。



スジヒトツバ *Cheiropleuria bicuspis*
八丈島では湿った安山岩の崖で見られます。



イヌタマシダ *Dryopteris hayatae*
この場所で20年以上も継続観察している株。



小さな植物を観察する時はつい密になりがち。
一人ずつ順番に、とお願いするものどうかと。



キジノオシダ *Plagiogyria japonica*
整備された林道脇で観察できるのは幸運です。



行き止まりの大川上流に自生するヘゴ。
この辺りは正に原生自然のヘゴ自生北限地帯。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。11月は8日に実施しました。参加者してくれたのは常連の方ばかりで話が弾み、久しぶりに賑やかな行事になりました。

八丈植物公園季節調査（2020年第11回）参加者：青木、沖野、茂手木、沖山、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			29	ツユクサ	花と実	17	ホルトノキ	実
1	アオツツラフジ	実	30	ツルソバ	花	18	モチノキ	実
2	アオノクマタケラン	実	31	ツワブキ	蕾	19	ヤブツバキ	蕾
3	アキノノグシ	花	32	テリハノブドウ	実	シダ植物		
4	アシタバ	実	33	ナガエコミカンソウ	実	1	アマクサシダ	
5	アシボソ	花と実	34	ナキリスゲ	実	2	イシカグマ	
6	アメリカセンダングサ	花と実	35	ハキダメギク	花と実	3	ウチワゴケ	
7	イヌタデ	実	36	ハチジョウアザミ	花	4	オオイタチシダ	
8	イヌホウズキ	花と実	37	ハマコンギク	花	5	オオタニワタリ	
9	ウスベニニガナ	花と実	38	ヒメクグ	実	6	オニヤブソテツ	
10	ウリクサ	花	39	フウトウカズラ	実	7	シチトウハナワラビ	孢子葉
11	エダウチチヂミザサ	実	40	ヘクソカズラ	実	8	タチクラマゴケ	
12	オオバコ	実	木本			9	タチシノブ	孢子葉
13	オニタビラコ	花と実	1	イタビカズラ	実	10	タマシダ	
14	オニドコロ	実	2	イヌビワ	実	11	ナチシケシダ	
15	カタバミ	花と実	3	オオムラサキシキブ	実	12	ノキシノブ	
16	カラムシ	実	4	ガクアジサイ	実	13	ハチジョウカナワラビ	孢子葉
17	キツネノマゴ	花と実	5	カラスザンショウ	実	14	ハチジョウシダ	
18	クグガヤツリ	実	6	サカキカズラ	蕾	15	ハチジョウベニシダ	
19	コニシキソウ	実	7	シチトウタラノキ	実	16	ヒトツバ	
20	コブナグサ	実	8	シマクサギ	花と実	17	ホシダ	
21	コメヒシバ	実	9	シマモクセイ	花	18	ホラシノブ	
22	サクユリ	実	10	スダジイ	実と虫こぶ	19	マツザカシダ	
23	シマナガバヤブマオ	実	11	テイカカズラ	実	20	マツバラ	
24	ススキ sp.	実	12	トベラ	実	21	マメヅタ	
25	セイヨウタンポポ	実	13	ハゼノキ	紅葉	22	ミゾシダ	
26	タケダグサ	花	14	ハチジョウキブシ	実と花芽	23	ヤマイトチシダ	
27	タチスズメノヒエ	実	15	ヒサカキ	蕾	今回は、シダ植物 23 種を含む 82 種の植物を観察しました。		
28	チヂミザサ	実	16	ヒメユズリハ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「トゲナシサルトリイバラ」にスポットを当ててみたいと思います。



トゲナシサルトリイバラ *Smilax china* var. *yanagitai*

最新の分類体系ではサルトリイバラ科に分類されている多年生の蔓植物です。国内に広く分布するサルトリイバラの変種で、南関東から伊豆諸島に自生しています。サルトリイバラとの最も大きな違いは、名前の通り茎に刺がないこと。しかし八丈島にはごく稀に刺のある個体もあり、油断ができません。トゲナシサルトリイバラの新芽は炒めて食べるとアスパラのような食感で美味しいらしいですが、刺のあるものは苦くて食べられないとの事。赤く熟した実は季節柄リースの素材として人気があります。

(T.K.)

2020 12

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		1	2	3	4	5 ガイドウォーク
6 ガイドウォーク	大雪 7	8	9	10	11	12 ガイドウォーク リースを作ろう①
13 ガイドウォーク リースを作ろう② 植物公園季節調査会	14	15	16	17	18	19 ガイドウォーク
20 ガイドウォーク	冬至 21	22	23	24	25	26 ガイドウォーク 八文学講座 「流人 近藤富蔵を知ろう」
27 ガイドウォーク	28	29 ガイドウォーク 体験八丈太鼓	30 ガイドウォーク 体験八丈太鼓	31 ガイドウォーク 体験八丈太鼓		

イベントプログラム

特別行事

「リースを作ろう」① ②

島の自然素材を使ってリースを作ります。定員を減らし、2回に分けて実施します。
① 12/12(土)、② 12/13(日) (13:30～15:00) 小学生以上(低学年は保護者同伴)
ビジターセンター集合・解散 無料 定員:各回5名

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう!
12/13(日) (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員:10名

八文学講座

「流人 近藤富蔵を知ろう」

毎月行っている八文学講座。今月は八丈実記を著した流人 近藤富蔵の遺構を辿ります。
12/28(土) (13:30～15:00) 中学生以上
三根開善院駐車場 集合・解散 参加費:50円 定員:10名

特別行事

「体験八丈太鼓」

八丈島の伝統芸能の一つ、八丈太鼓を体験しましょう。寒い中、思い切り太鼓を叩いて汗をかこう!
12/29～12/31 (13:30から随時) だれでも参加できます。
ビジターセンター正面入り口 参加費:無料 定員:ナシ

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日、12/29～12/31 (10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員:10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2020.12.1 第235号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888

編集後記

八丈島の冬は北西の季節風が強く、南の島にしては意外に寒く感じられます。更に例年ならなんとなくそわそわしてくる師走になっても
新型コロナの影響で気持ちが高揚してきませんね。引き続きみんなで踏ん張る必要があります。(T.K.)